

# I. 法人の概要

## 1. 建学の精神

「女子美」の名で知られる本学園は、女性に門戸を開く美術の専門教育機関がほとんどなかった明治33（1900）年に、「芸術による女性の自立」、「女性の社会的地位の向上」、「専門の技術家・美術教師の養成」を建学の精神として掲げ、創立しました。110余年もの長い歴史の中で、画壇・デザイン界をはじめ、教育界などあらゆる分野に優れた人材を輩出するとともに、社会で自立できる女性たちを送り出してきました。現代においても、知性と感性と技能を併せもち、美術の専門を生かして自立できる人材の育成を行っています。

### 《建学の精神の現代的意義》

創立当時と現代ではその社会的な状況が異なり、現代では男女平等及び男女共同参画社会の実現に関わる法律・制度の整備、大学を取り巻く社会的要請の変化、あるいは社会経済のグローバル化などが進展しています。また、現代社会では環境問題や国際的な政治経済の問題など、国境を越えた人類共通の課題と対峙しています。これらの課題に対して、世界の人々は文化の違いを超えて、相互に理解し尊敬しあう気持ちを育んでいく必要があります。そして、美を愛でる人類共通の心の中にこそ、地球規模の問題を解決していく糸口を見出すことができます。

風評に流されることのない、自ら考え自らの意思で行動する一人の市民としての権利と義務は、目の前の事物をしっかりと観察できる力を身につけることから始まります。また、自らの考えを分かりやすく、しっかりと人に伝える力を磨くためには、言葉のみならず人の感性に響く形や色を通して表現する力をも身につけることが重要です。そのような意味において、美術・デザインの教育は、人間が本来もつべき力の基本であるにもかかわらず、今日、日本の初等・中等教育において、その教育が軽視されている事態は、憂慮すべき状況です。

社会の発展においては、旧弊を改めて新たな知見を取り入れる先駆性ととともに、広い視野において物事を冷静に判断する人智が必要です。バランスの取れた社会の発展のために、今後より一層、社会の進路を決定する重要な場面において、女性の持つ安全や安心に対する鋭い感覚を生かすことが求められています。

建学の精神の現代的な意義として、美術・デザイン教育で培われる能力は人間の持つ力の基本であるとともに、今日の社会において美術・デザインは地球規模の問題を解決する可能性を持つことが挙げられます。また、山積する困難な社会的課題の解決やバランスの取れた社会発展のため、女性の感性を社会で活かすことがますます重要となっています。本学園では教育と研究を通して、美術・デザインの力と女性の感性を合わせ新たな価値を生み出し、より良い社会の創造に貢献します。

## 2. 学園のビジョン

「美を追求し命を尊ぶ心豊かな社会を創造する」

現代社会において、既成の概念や方策が行き詰まりを見せており、新たな価値を創出することにより社会を変革し豊かな社会とするイノベーションが求められています。また、他者を尊重して他者や社会の幸福に貢献するとともに、生命や環境を重んじる人間性豊かな社会づくりも待望されています。さらに、女性の感性をこうした社会づくりに役立てて行くことの重要性も増しています。こうした中、今日では美術・デザインは人と社会、人と人、人と物などをつなぐ主導的な役割を担い、他分野の科学と協働することにより社会や経済を動かす原動力になりつつあります。

本学園では、美術・デザインの教育研究を通して、生命や環境を重んじた平和で人間性豊かな文化的な社会の創造を先導できる人材の育成を行うとともに、学園自らもこうした社会の創造を目指し貢献していきます。

### 3. 教育理念

大学院美術研究科博士後期課程

1. 作品制作と理論との融合による新たな制作者・教育者の養成
2. 社会において直ちに指導的役割を果たし得る高度な専門知識・技術をもつ人材の養成
3. 幅広くかつ堅実な方法論をもつ造形理論研究者の養成

大学院美術研究科修士課程

1. 芸術の新しい動向に対応し得る、確かな原理を体得した専門家・作家・研究者の養成
2. 芸術研究の新分野の開拓
3. 新しい視点からの創作研究

芸術学部

1. 時代を超えて美を追求する個性豊かな専門家を育成します。
2. 芸術との感動的出会いの積み重ねを通して、創造の喜びを培い、広い視野と柔軟な思考・行動能力の獲得をはかります。
3. 社会を読む眼を育て、時代の流れを先取りする芸術的感性を養います。

短期大学部

1. 選択の自由と自己責任
2. 知性と感性の統合とコーディネート能力の育成
3. 社会で活躍する専門家の養成

付属高等学校・中学校

美術を通して、我が国の文化に貢献する有能な女性を育成する。

#### 4. 学園の沿革

女子美術大学の前身である私立女子美術学校は、明治 33（1900）年に設立が認可されました。設立の発起人は藤田文蔵、横井玉子ら 4 人でしたが、その中心的役割を担ったのが横井玉子でありました。横井玉子は熊本支藩の肥後新田藩家老原伊胤の娘に生まれ、熊本洋学校で学び、幕末の思想家・横井小楠の養子であった横井左平太に嫁ぎ、横井家の先進の気鋭に触れています。

学校は設立認可の翌年に財政的な経営危機に見舞われますが、順天堂第三代堂主・佐藤進男爵の夫人であった佐藤志津の多大な貢献により建て直され、その運営が軌道にのせられました。以後、時代の変革に対応して、設置母体の財団法人化、専門学校への昇格、また大正 4（1915）年に付属校の前身となる付属高等女学校の開設などを行いました。

戦後、学制改革により、昭和 24（1949）年に専門学校から大学への昇格が認められ、校名を女子美術大学として新制大学となりました。昭和 25（1950）年には財団法人を学校法人とするとともに、短期大学部を併設しました。その後、教育研究のさらなる高度化を目指し、平成 6（1994）年に大学院を設置し、平成 22（2010）年に創立 110 周年を迎えました。

## 略年表

明治 33 年(1900 年)	私立女子美術学校設立の認可を受ける
明治 34 年(1901 年)	本郷弓町の校舎において開校、校章制定
明治 42 年(1909 年)	本郷菊坂町に新校舎落成、弓町より移転
大正 4 年(1915 年)	付属高等女学校を開校
大正 5 年(1916 年)	付属高等女学校を私立佐藤高等女学校に改称
大正 6 年(1917 年)	財団法人私立女子美術学校に組織変更
大正 8 年(1919 年)	私立女子美術学校を女子美術学校に改称
昭和 4 年(1929 年)	専門学校に昇格し女子美術専門学校に改称
昭和 10 年(1935 年)	杉並校舎に移転
昭和 22 年(1947 年)	学制改革により佐藤中学校設置
昭和 23 年(1948 年)	学制改革により佐藤高等学校発足
昭和 24 年(1949 年)	学制改革により女子美術大学発足
昭和 25 年(1950 年)	財団法人を学校法人に改組。短期大学部を併設
昭和 26 年(1951 年)	女子美術大学付属高等学校中学校に改称
昭和 37 年(1962 年)	女子美術大学短期大学部を女子美術短期大学に改称
昭和 43 年(1968 年)	茅ヶ崎校地に付属幼稚園開設（～1990 年）
平成 2 年(1990 年)	女子美術大学芸術学部相模原校舎開校
平成 6 年(1994 年)	大学院美術研究科修士課程を設置
平成 8 年(1996 年)	大学院美術研究科博士後期課程を設置
平成 12 年(2000 年)	創立百周年記念式典挙行（東京国際フォーラム）
平成 13 年(2001 年)	女子美術大学芸術学部に立体アート学科、メディアアート学科、ファッション造形学科を設置 女子美術短期大学を女子美術大学短期大学部に改称 創立百周年記念棟落成式挙行 女子美アートミュージアム（JAM）落成
平成 15 年(2003 年)	女子美術大学研究所、女子美オープンカレッジセンターを設置
平成 17 年(2005 年)	大学院美術研究科修士課程に芸術文化専攻を増設
平成 19 年(2007 年)	女子美術大学短期大学部別科現代造形専修を同別科基礎造形専修に改称
平成 21 年(2009 年)	女子美術大学短期大学部別科基礎造形専修を募集停止
平成 22 年(2010 年)	芸術学部絵画学科、工芸学科、立体アート学科、デザイン学科、メディアアート学科、ファッション造形学科、芸術学科を募集停止 芸術学部美術学科（4 専攻）、デザイン・工芸学科（4 専攻）、アート・デザイン表現学科（4 領域）を設置 短期大学部造形学科を美術コース（平面・立体）、デザインコース（情報デザイン・創造デザイン）に教育課程変更 創立百十周年記念式典挙行（有楽町朝日ホール）
平成 24 年(2012 年)	芸術学部美術学科に美術教育専攻を開設
平成 26 年(2014 年)	芸術学部美術学科芸術文化専攻を開設 芸術学部美術学科芸術表象専攻を募集停止 大学院美術研究科修士課程デザイン専攻にアートプロデュース研究領域を開設 大学院美術研究科修士課程ヒーリング造形研究領域、メディアアート造形研究領域、ファッション造形研究領域をそれぞれ同ヒーリング研究領域、同メディア研究領域、同ファッションテキスタイル研究領域に名称変更

## 5. 設置する学校、学部・学科等、開設年月

学校法人女子美術大学 理事長 大村 智

〒166-8538 東京都杉並区和田 1-49-8

女子美術大学 学長 横山 勝樹

○杉並キャンパス (大学院美術研究科/芸術学部アート・デザイン表現学科)

〒166-8538 東京都杉並区和田 1-49-8

○相模原キャンパス (大学院美術研究科/芸術学部美術学科、デザイン・工芸学科)

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台 1900

女子美術大学短期大学部 学長 横山 勝樹

〒166-8538 東京都杉並区和田 1-49-8

女子美術大学附属高等学校・中学校 校長 小川 正明

〒166-8538 東京都杉並区和田 1-49-8

設置する学校	学部・学科等		開設年月		
女子美術大学			昭和 24 年 4 月		
女子美術大学	大学院 美術研究科	博士後期 課程	美術専攻	平成 8 年 4 月	
		修士課程	美術専攻	平成 6 年 4 月	
			デザイン専攻		
	芸術文化専攻		平成 17 年 4 月		
	芸術学部	美術学科	洋画専攻	平成 22 年 4 月	
			日本画専攻		
			立体アート専攻		
			芸術表象専攻		
			美術教育専攻	平成 24 年 4 月	
		デザイン・ 工芸学科	芸術文化専攻	平成 26 年 4 月	
			デザイン・ アート・ デザイン 表現学科	ヴィジュアルデザイン専攻	平成 22 年 4 月
				プロダクトデザイン専攻	
				環境デザイン専攻	
				工芸専攻	
メディア表現領域					
ヒーリング表現領域					
ファッションテキスト表現領域					
アートプロデュース表現領域					
女子美術大学短期大学部			昭和 25 年 4 月		
女子美術大学短期大学部	造形学科		昭和 32 年 4 月		
	専攻科 造形専攻		昭和 38 年 4 月		
女子美術大学附属 高等学校	全日制 (普通科)		昭和 23 年 4 月		
女子美術大学附属 中学校			昭和 22 年 4 月		

## 6. 設置する附置機関

○女子美術大学図書館・女子美術大学短期大学部図書館

杉並、相模原の両キャンパスに置かれており、あわせて書籍約 41 万冊、約 700 種類に及ぶ新刊雑誌を所蔵しています。これらは主に専門的な書籍、雑誌や展覧会カタログ等により構成されています。コレクションの一つとして、古代ギリシ

ヤ・ローマ美術史に関する資料を多数所蔵しています。中でも特色あるものとして、ドイツの古代美術史研究者 Heinrich von Brunn (1822-1894) が収集した古典文献資料として学術的価値が高い「ブルン文庫」や、元図書館長でもある故松島道也名誉教授の収集した蔵書である「松島文庫」があります。図書・学術雑誌を手にとることができる開架式書架が多いことが大きな特色です。

## ○女子美術大学美術館

女子美アートミュージアム（通称：JAM (Joshibi Art Museum)）

相模原麻溝公園に面した本施設は相模原キャンパス 10 号館にあり、①教育機関としての美術館活用、②地域貢献、③女性作家の研究を柱に美術館活動をしています。大学は、平成 13 年に相模原市と文化促進協定を締結し、相模原市における芸術文化の普及啓発に互いに協力しています。本施設では、市民が広く芸術に親しめる芸術文化の拠点となるように努めています。また、韮崎市立韮崎大村美術館（山梨県）とも相互協力協定を締結し、美術資料等の相互活用を行っています。

文化勲章受章者の片岡球子、大久保婦久子、文化功労者の三岸節子、郷倉和子などの学園出身作家をはじめ、学園にゆかりの深い美術家の作品を中心に、洋画・日本画・版画・彫刻・立体・工芸・ポスター・映像作品など約 1 万 5 千点を収蔵しています。特に、約 1 万 2 千点にも及ぶ小袖・和裂（布地）などを中心とした「女子美染織コレクション」、及び約 350 件のインドネシアのイカット(絣)のコレクションは、古代から現代までの世界の染織品を網羅した国内最大級のコレクションです。本コレクションには、昭和 10 (1935) 年に文部省の依頼により、法隆寺金堂の壁画を京都の便利堂が撮影した原寸大分割写真のコロタイプ版全 12 幅があります。これは、日本美術史上の一大プロジェクトとして当時の日本画壇の精鋭たちが威信をかけて取組み、焼失した法隆寺金堂壁画の模写に利用されたもので、我が国の本格的絵画の原点を知る貴重資料です。

女子美ギャラリーニケ

杉並キャンパス 1 号館にある女子美ギャラリーニケでは、「社会とつながる」をテーマとした展覧会を開催し、地域の芸術文化振興に努めています。一般の方を対象とした美術・デザイン公開講座「アート・セミナー」の受講生の作品発表など生涯学習の場としても機能し、ワークショップや講演会も実施しています。

## ○女子美術大学歴史資料展示室

杉並キャンパス 1 号館にある女子美術大学歴史資料展示室は、横井玉子、藤田文蔵、佐藤志津ら、本学の創設者と功労者の功績、及び 114 年の歴史を伝えることを目的とします。自校史教育の場としても役立てられています。また、女子美術大学美術館収蔵の「女子美染織コレクション」を杉並キャンパスでも紹介できる場として、定期的な展示を行っています。

## ○女子美術大学研究所

女性の感性と視点を十分に活かし、社会との連携を図りながら、教育研究基盤

の高度化、大学の資源の社会還元、産官学連携事業による教育還元を行い、社会貢献することを目的に設置しています。

○女子美オープンカレッジセンター

社会に開かれた大学活動の一環として、一般の方を対象とした美術・デザイン公開講座「アート・セミナー」や、自治体との連携による公開講座などを開催しています。両キャンパスが立地する地域の住民の方々を中心に、広く生涯学習の機会を提供し、多様な学習意欲に応えることを目的としています。

## 7. 学生・生徒数

(平成26年5月1日現在)

区分	学科等	専攻・領域	入学定員	入学者数	収容定員		在学生・在校生数	
						編入定員		
大学院 美術研究科	博士後期課程	美術	3	2	9	—	9	
	修士課程	美術	35	25	70	—	61	
		デザイン	15	18	30	—	31	
		芸術文化	7	7	14	—	19	
		計	57	50	114	—	111	
美術研究科 合計			60	52	123	—	120	
芸術学部 (平成22年度以降入学者・1～4年次)	美術学科	洋画	105	83	420	28	397	
		日本画	45	51	180		215	
		立体アート	20	29	80		96	
		芸術表象	—	—	45		30	
		美術教育	15	18	45		46	
		芸術文化	15	10	15		10	
		計	200	191	813		794	
	デザイン・工芸学科	ヴァジュアルデザイン	117	129	468	32	549	
		プロダクトデザイン	40	39	160		157	
		環境デザイン	23	20	92		82	
		工芸	50	43	200		205	
		計	230	231	952		993	
	アート・デザイン表現学科	メディア表現	70	85	280	20	375	
		ヒーリング表現	40	45	160		162	
		ファッションテキスタイル表現	30	35	120		137	
		アートプロデュース表現	20	13	80		84	
		計	160	178	660		758	
	芸術学部 (1～4年次) 合計			590	600	2,425	—	2,545
	芸術学部 (平成21年度以前入学者・4年次)	絵画学科	洋画	—	—	—	—	2
日本画			—	—	—	—	0	
工芸学科		—	—	—	—	0		
立体アート学科		—	—	—	—	2		
デザイン学科		—	—	—	—	3		
メディアアート学科		—	—	—	—	1		
ファッション造形学科		—	—	—	—	1		
美術学科		—	—	—	—	3		
芸術学部 (4年次) 合計			—	—	—	—	12	
芸術学部 合計			590	600	2,425	—	2,557	
短期大学部	造形学科		180	165	360	—	323	
	専攻科		50	33	50	—	33	
短期大学部 合計			230	198	410	—	356	
付属校	高等学校		200	210	600	—	600	
	中学校		135	144	405	—	430	
付属校 合計			335	354	1,005	—	1,030	
総合計			1,215	1,204	3,963	—	4,063	

※芸術学部各学科の収容定員計には、3年次編入学定員を含む(美術学科28人、デザイン・工芸学科32人、アート・デザイン表現学科20人)。

※芸術学部美術学科芸術表象専攻(平成26年度学生募集停止)は、2～4年次の収容定員とする。

※芸術学部美術学科美術教育専攻(平成24年度開設)は、3年次までの収容定員とする。

※芸術学部美術学科芸術文化専攻(平成26年度開設)は、1年次までの収容定員とする。



## 8. 役員 の 概要

(平成 26 年 5 月 1 日現在)

定員 理事 9～15 人、監事 2 人

区分	氏名	常勤・非常勤	就任年月
理事長	大村 智	常勤	平成 19 年 4 月理事長就任
常務理事	小倉 文子	常勤	平成 19 年 4 月理事就任
常務理事	五十嵐 義明	常勤	平成 24 年 10 月理事就任
理事	横山 勝樹	常勤	平成 22 年 4 月理事就任
理事	小川 正明	常勤	平成 21 年 6 月理事就任
理事	橋本 弘安	常勤	平成 19 年 6 月理事就任
理事	小林 信恵	常勤	平成 23 年 6 月理事就任
理事	上葛 明広	常勤	平成 23 年 6 月理事就任
理事	木下 小夜子	非常勤	平成 23 年 6 月理事就任
理事	佐藤 和子	非常勤	平成 19 年 6 月理事就任
理事	石川 達紘	非常勤	平成 23 年 6 月理事就任
理事	梶 英輔	非常勤	平成 23 年 6 月理事就任
理事	福下 雄二	非常勤	平成 24 年 3 月理事就任
監事	大矢 和子	非常勤	平成 23 年 6 月監事就任
監事	工藤 恒子	非常勤	平成 23 年 6 月監事就任

現員 理事 13 人、監事 2 人

## 9. 評議員 の 概要

(平成 26 年 5 月 1 日現在)

定員 25～31 人

区分	氏名	区分	氏名	区分	氏名
評議員	大村 智	評議員	斎藤 和彦	評議員	稲田 美乃里
評議員	横山 勝樹	評議員	南 宏	評議員	柳瀬 晶子
評議員	小川 正明	評議員	稲木 吉一	評議員	佐藤 泰彦
評議員	橋本 弘安	評議員	藤倉 久美子	評議員	為ヶ谷 秀一
評議員	小林 信恵	評議員	弘中 雅子	評議員	石川 達紘
評議員	上葛 明広	評議員	三浦 良夫	評議員	鈴木 靖則
評議員	原 聖	評議員	清水 弘之	評議員	佐藤 和子
評議員	田中 一幸	評議員	木下 小夜子		
評議員	岩井 建	評議員	音丸 瑠美子		
評議員	内藤 幸江	評議員	堀内 洋子		

現員 評議員 27 人

## 10. 教職員の概要

(平成 26 年 5 月 1 日現在)

大学・短期大学部

区分	専任						非常勤 客員教授 特別招聘教授	計
	教授	准教授	講師	助教	助手	計		
大学院	1	0	0	0	0	1	43	44
芸術学部	49	13	3	3	44	112	461	573
短期大学部	9	3	0	4	10	26	159	185
合計	59	16	3	7	54	139	663	802

付属高等学校・中学校

区分	教諭	非常勤	計
高等学校	28	21	49
中学校	18	8	26
合計	46	29	75

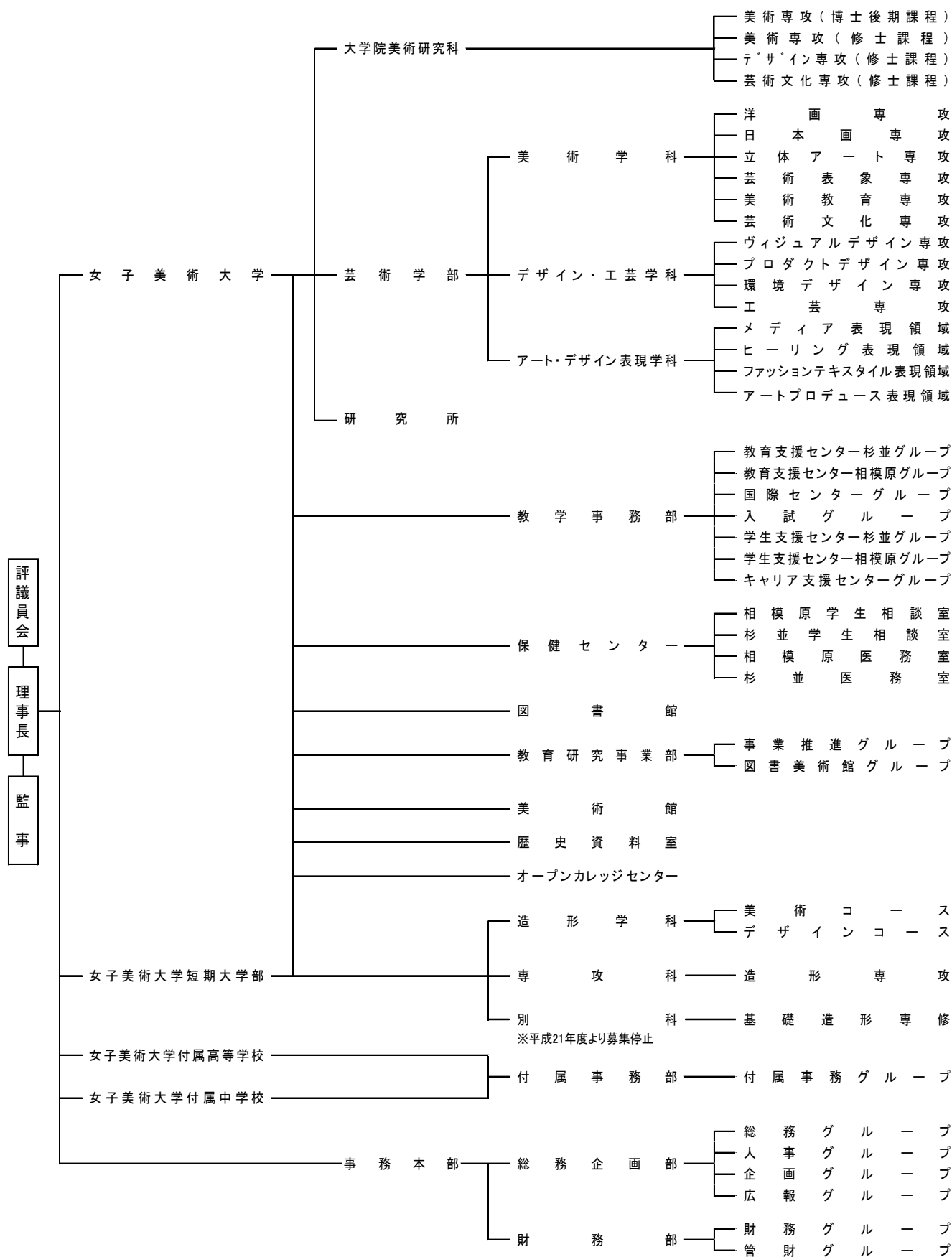
職員

区分	専任 職員	特定 職員	医療職	学芸員	テクニカル マイスター	非専任	計
法人・大学・短期大学部	60	13	1	3	2	96	175
付属高等学校・中学校	4	3	0	0	0	8	15
合計	64	16	1	3	2	104	190

※ 非専任は、嘱託職員、パートタイマー、派遣職員等。

# 11. 組織図

(平成 26 年 5 月 1 日現在)



## 12. 施設の状況

(平成 26 年 5 月 1 日現在)

キャンパス	学校・学科等		所在地	主な交通手段
杉並 キャンパス	事務本部		東京都杉並区和田 1-49-8	東京メトロ丸の内線 東高円寺駅 徒歩 8 分
	大学院 美術研究科	修士課程		
	芸術学部	アート・デザイン表現学科		
	短期大学部	造形学科 専攻科		
	付属高等学校			
	付属中学校			
相模原 キャンパス	大学院 美術研究科	博士後期課程 修士課程	神奈川県相模原市 南区麻溝台 1900	小田急線相模大野駅 バス 20 分 JR 横浜線古淵駅 バス 15 分
	芸術学部	美術学科 デザイン・工芸学科		

(平成 26 年 5 月 1 日現在)

建	物	名	面積 (㎡)	備考
杉並 キャンパス	1号館		2,843.01	歴史資料展示室、女子美ギャラリーニケ、アート・セミナールーム、事務室
	2号館		11,309.30	講義・実習棟、図書館
	3号館		6,361.97	付属棟、事務室
	5号館		775.98	実習棟
	6号館		5,397.59	講義・実習棟、事務室
	7号館		2,925.06	講義・実習棟
	8号館		675.90	実習棟
	体育館		1,395.81	体育館
		計		31,684.62
相模原 キャンパス	1号館		7,418.32	事務室、実習・講義棟
	1号館附属建物		28.50	守衛所
	1.5号館		157.14	売店、書店、ギャラリー
	2号館		5,143.00	厚生棟
	3号館		3,136.46	図書館
	4号館		3,462.73	デザイン棟
	4号館別棟		233.28	デザイン棟
	5号館		3,836.19	工芸棟
	5号館別棟		364.14	窯場、ガラス棟、実習棟
	6号館		3,554.78	デザイン棟
	6号館別棟		246.24	デザイン棟
	7号館		1,815.13	体育館
	8号館		5,996.42	絵画棟
	8号館別棟		1,015.74	実習棟
	9号館		1,238.55	実習棟
	10号館		7,303.28	講義・実習棟、美術館
	10号館別棟		129.60	実習棟
	11号館		656.65	実習棟
	12号館		1,500.36	実習棟
	13号館		2,905.24	実習棟、共同コンピュータ室
		倉庫 (11号館横)		89.10
	金工実習棟		17.27	
	危険物倉庫		11.71	
	物置		10.00	
	計		50,269.83	
その他	軽井沢寮		743.23	
	合計		82,697.68	